

2022年度通常公募_団体情報シート				
団体名	特定非営利活動法人キッズドア		団体web サイトURL	https://kidsdoor.net/
主眼	地域の「子ども家庭サポートセンター」構築		申請受付番号	220122
副眼	『貧困の連鎖』を断ち切る 学びと生活支援の場を全国に		申請事業の分類①	①草の根活動支援事業
			申請事業の分類②	①-1 全国ブロック
			申請事業の分類③	
優先すべき社会の諸課題選択科目				
領域①	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	領域②	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	
分野①	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援	分野②	⑥ 女性の経済的自立への支援	
	② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援		⑨ その他	
領域③	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動			
分野③	⑦ 地域の働く場づくりの支援や地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援	領域④		
	⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	分野④		
申請事業概要				
<p>本事業では、大都市圏（東京・大阪など）以外において、経済的困窮により教育の機会に恵まれない子どもや不登校・長期欠席などの状態にいる子ども／学生（6～18歳）を対象とした、①定期的な無料学習支援教室の開催と共に、②家庭に対する生活相談や支援機能まで備えた「子ども家庭サポートセンター」の構築を目指す。実行団体として、すでに地域で居場所事業などを継続的に実施している団体を想定する。子ども／学生が「貧困の連鎖」を断ち切り、自らの「やりたいことで生きていく」機会が保障されることを中長期アウトカムとして、本事業後も、実行団体がサービスを継続できる状態を目指す。</p> <p>事業の特徴は、「学びの機会と同時に、学べる環境の整備も支援する」子ども家庭サポートセンターというアイデアの社会実装を目指すことにある。実現のために、専門的知見を持つキッズドアと、休眠預金活用事業の運営経験を持つREADYFORがコンソーシアムを形成し、盤石なサポート体制を構築する。アウトカムや良事例などを体系化し発信することで、行政事業への横展開や、民間ファンドによるインパクト投資の対象として、継続的にセンターが維持される状態を目指す。</p>				

団体組織情報			
1	●設立・法人取得年月日		
	設立年月日		2007/01/01
	法人格取得年月日		2009/10/05
2	●団体概要		
	団体概要	<ul style="list-style-type: none"> ■学習支援 生徒数1,498人 年間学習会4,881回 ・高校生 無料大学受験対策 キッズドア学園高等部 キャリア支援 リライン ・中学生 無料高校受験対策 キッズドア学園中等部 無料英語学習 English Drive ・小学生 無料学習 みらい塾 無料英語学習 English Drive Jr. ■困窮家庭向け生活支援 ファミリーサポート事業 物資&情報&就労支援34,182人 	
3	●代表者情報		
	代表者名		渡辺 由美子
	代表者の役職		理事長
	代表者名 2		
	代表者の役職 2		
4	●役員		
	役員の数		22人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の人数		1人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数		0人
5	●事務局職員		
	職員・従業員合計		992人
	以下、職員・従業員の内訳		
	常勤・有給・有期		84人
	常勤・有給・無期		12人
	常勤・無給(有期・無期)		0人
	非常勤・有給・有期		166人
	非常勤・有給・無期		0人
	非常勤・無給(有期・無期)		730人
6	●資金管理体制		
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること		異なっている
7	●区分経理・帳簿		
	1.必要な会計帳簿が備えられている		はい
	2.業務別に区分経理ができる体制である		はい
8	●監査		
	年間決算の監査を行っているか		①監事を実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	35団体
2	前年度の助成総額 (円)	6億3489万円
助成事業の実績内容		
3	<p>認定特定非営利活動法人キッズドアは、現在、休眠預金活用事業におけるコンソーシアム構成団体を務めており、事業構築アドバイス、担い手研修などを通じた事業の構築・円滑化支援などの非資金支援実績を持つ。</p> <p>・JANPIA2021年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成「『深刻化する『コロナ学習格差』緊急支援事業』」(2020年7月～) 助成団体数：17 助成金額：2億1249万5592円</p> <p>READYFOR株式会社は、下記の助成金分配事業など当該分野の事業に関するプロジェクトを多く採択し、また、休眠預金活用事業の資金分配団体として、運営支援や運営業務のDXによる効率化、資金獲得ノウハウやロジックモデル作成などの非資金的伴走支援を進めている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症：感染拡大防止基金 (2020年4月～) 助成団体数：165 助成金額：8億7249万1000円 (国内クラウドファンディング史上最高額を調達)</p> <p>・JANPIA2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成「新型コロナウイルス対応緊急支援」(2020年7月～) 助成団体数：26 助成金額：2億1249万5592円</p> <p>・新型コロナウイルス感染症：いのちとこころを守るSOS基金 (2021年1月～) 助成団体数：34 助成金額：7292万2377円</p> <p>・JANPIA2021年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成「深刻化する『コロナ学習格差』緊急支援事業」(2021年10月～) 助成団体数：17 助成金額：2億9750万円 ※主幹事団体として実施</p> <p>・JANPIA2021年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成「長期化する若者の『コロナ失職』包括支援事業」(2022年3月～) 助成団体数：18 助成金額：3億3739万円 ※コンソーシアム構成団体として実施</p>	